

公募要領

2025 年 3 月 18 日

「未来の学術振興構想」の改訂に向けた
「学術の中長期研究戦略」の公募等について日本学術会議科学者委員会
学術研究振興分科会

1. 未来の学術振興構想の背景と目的

日本学術会議においては、2021 年 4 月に取りまとめた「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」（第 182 回総会決定）で示された改革の方向性を具体化すべく、様々な取組を進めてきました。中でも、取組の柱の一つに掲げられた科学的助言機能の強化については、独立した立場からより広い視野に立った社会課題の発見や中長期的に未来社会を展望した対応の在り方についての提案に対する社会の期待に応えるべく、特に「中長期的視点と俯瞰的視野と分野横断的な検討」を重視した見直しを進めてまいりました。

また、日本学術会議を取り巻く社会の状況を見渡せば、気候変動やカーボンニュートラルを始めとするサステナビリティへの取組に対する関心の高まり、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大への社会の対応等に見られるように、国民生活における学術や科学技術への期待や関心、学術と行政との関わり等にも様々な変化が生じております。

こうした中、日本学術会議では、第 21 期以降、学術的意義の高い大型研究計画を広く網羅的に体系化する「マスタープラン」を期ごとに策定し、各学術分野における活発な議論を通じて我が国の学術の強化・発展に寄与してきました。しかしながら、前述のようなこの間の社会環境の変化に加え、日本学術会議の存在や役割について社会が注目する中、自らも科学的助言機能の強化に関して見直し新たな仕組みに移行しつつある状況や、分野横断や学際的な取組が不十分、中長期的な視点の欠如、分野の偏りがあるのではないか等の内外の様々な意見も踏まえ、第 25 期において、従来の「マスタープラン」は策定しないこととし、2023 年 9 月、新たに提言「未来の学術振興構想（2023 年版）」（以下、「未来の学術振興構想」という。）を策定しました（注 1）。

「未来の学術振興構想」では、今後 20～30 年頃まで先を見通した学術振興の 19 の「グランドビジョン」（注 2）を提示し、それぞれの「グランドビジョン」について、その実現の観点から必要となる「学術の中長期研究戦略」（今後 20～30 年頃まで先を見通した学術振興の「ビジョン」とその実現に必要な「学術研究構想」）を示しました。19 の「グランドビジョン」は、多様な科学者コミュニティから提案された将来振興すべき学術の「ビジョン」を取りまとめたものであり、社会からの要請を念頭に科学者の自由な発想に基づいていることが大きな特徴の一つであり、かつ、重要な点である

と考えております。

しかしながら、前回の「学術の中長期研究戦略」の応募から3年程度が経過し、学術研究の進展や社会情勢等取り巻く環境の変化を受け、「未来の学術振興構想」の一部に改訂の必要が生じているのではないかと考えています。また、提示された19の「グランドビジョン」を俯瞰することで新たな戦略の提案も期待されます。前期に「未来の学術振興構想」を取りまとめた際には、例えば、新たな「グランドビジョン」及び「グランドビジョン」を構成する「ビジョン」を追加するなど、「学術の進展、社会や環境の変化に伴い、将来しかるべき時期に更新されるべきである。」と、今後も継続的な検討が必要であることを指摘しています。

これらを踏まえ、第26期科学者委員会学術研究振興分科会（以下「本分科会」という。）において検討した結果、「未来の学術振興構想」を改訂することとしました。なお、前期の提言の発出から間もないことから大幅な見直しはせず、19の「グランドビジョン」の実現及びより一層の充実のために必要な「学術の中長期研究戦略」を追加募集するとともに、「未来の学術振興構想」に掲載した「学術の中長期研究戦略」の「学術研究構想」の進展等に伴う改訂を実施し、それらを踏まえて、「未来の学術振興構想」の改訂を実施します。

なお、「未来の学術振興構想」は、政府の予算への直接の反映等を意図するものではないことを申し添えます。

2. 「学術の中長期研究戦略」の公募等

別添の「第26期『未来の学術振興構想』の改訂方針について」（注3）に従い、第25期に策定した「未来の学術振興構想」をさらに発展及び充実し、「未来の学術振興構想」改訂版（仮称）（以下、「改訂版」という。）を策定することを目的として、「未来の学術振興構想」において提示した19の「グランドビジョン」の実現に必要な「学術の中長期研究戦略」を追加募集するとともに、「未来の学術振興構想」に掲載の「学術の中長期研究戦略」の改訂を依頼します。

「学術の中長期研究戦略」は、専門的な知見に根差した今後20～30年先を見通した学術振興の「ビジョン」と、その実現のために今後10年程度で実施することが必要な「学術研究構想」の双方から構成されます（注4）。

本戦略の提案については、科学者コミュニティから積極的に御提案いただきたいと考えておりますが、特に複数の研究コミュニティが連携した複合的な「学術の中長期研究戦略」、人文・社会科学分野が中核的に関わる「学術の中長期研究戦略」の提案を期待しております。

応募いただいた提案は、本分科会等において一定の絞り込みを行った上で、「未来の学術振興構想」において提示した19の「グランドビジョン」をベースとして、本分科会等において俯瞰的、かつ、分野横断的に検討して分類・グループ化し、必要に応じ、新たな「グランドビジョン」の追加も検討します。

なお、追加募集に対する提案については「未来の学術振興構想」において提示している19の「グランドビジョン」（注2）のうち、どの「グランドビジョン」の実現に必要な「学術の中長期研究戦略」であるか、最も関連のある「グランドビジョン」の番号（該当する「グランドビジョン」がない提案も可能ですが、極力、19の「グランドビジョン」との関連を検討してください。）、また、人文・社会科学、生命科学、理学・工学、分野融合のいずれに該当するか、代表的なキーワードを3つ程度明記していただきます。それらの情報も参考に、「グランドビジョン」の策定に向けた検討を行います。申請と異なる「グランドビジョン」に分類されたり、関連する「グランドビジョン」がないものとして申請していただいた場合でも、検討の結果、既存の19の「グランドビジョン」に分類される可能性もありますので、予めご了承ください。

「グランドビジョン」とその実現に必要な「学術の中長期研究戦略」をリスト化し、日本学術会議の意思の表出として取りまとめ、公表する予定です。

3. 公募等の対象

公募等の対象は下記のとおりです。

1) 応募区分Ⅰ：追加募集

- ① 「未来の学術振興構想」において提示した19の「グランドビジョン」の実現に必要な「学術の中長期研究戦略」を追加募集します。
- ② 追加募集に対する提案については、「未来の学術振興構想」において提示した19の「グランドビジョン」のうち最も関連する「グランドビジョン」の番号（該当する「グランドビジョン」がない提案も可能ですが、極力、19の「グランドビジョン」との関連を検討してください。）、人文・社会科学、生命科学、理学・工学、分野融合のいずれに該当するか、代表的なキーワードを3つ程度明記してください。
- ③ 公募の対象である「学術の中長期研究戦略」は、専門的な知見に根差した今後20～30年先を見通した学術振興の「ビジョン」と、その実現のために今後10年程度で実施することが必要な「学術研究構想」の双方から構成されます。
- ④ 「学術研究構想」は、複数の学術分野に関わる提案や複数の学術分野に裨益することが想定される提案を推奨します。また、個別の学術分野のみに関わる研究については、「ビジョン」が明確で分野に変革をもたらすような先鋭的な提案を推奨します。
- ⑤ 「学術研究構想」は、「研究計画」又は「施設計画」のいずれかとし、それぞれの規模については、以下のとおりです。
 - i. 「研究計画」：科学研究費補助金等で実施困難なものであることを前提とするが、特に予算総額の下限は定めない（調査の継続期間等の予算以外の要因で“実施困難”な計画も含む）。

- ii. 「施設計画」: 国策としてトップダウンで整備する施設との区別を明確にするため、予算総額（国際共同事業については国内負担分）については概ね 2000 億円を上限とするが、特に下限は定めない。
- ⑥ 「研究計画」及び「施設計画」については、③に加え、以下の要件に合致するものとします。
- i. 「研究計画」については、「ビジョン」に立脚した「研究計画」であって、学術分野の重要課題について、長期間にわたって多くの研究者が参画し、観察、観測、調査、研究を推進する、あるいは大規模なデータ収集のための長期的実施体制やデータベースを構築し、その効果的な利用を推進する等、大きな規模の計画的研究の展開によって新たな知を創造する計画であることが必要です。
 - ii. 「施設計画」については、「ビジョン」に立脚した施設計画であって、最先端の研究を拓くことを目的として、多くのコミュニティの研究者が共同して利用・研究するための施設、及びそれに付随する装置や設備に関する建設・整備・運用計画であることが必要です。
- ⑦ 「学術研究構想」は、分野融合の提案（特に文理にまたがる提案）を歓迎いたします。また、「学術研究構想」に含まれる「研究計画」及び「施設計画」においては、人材育成（若手育成）と実施体制におけるダイバーシティの観点を含めてください。
- ⑧ 実施体制等については、関係協力機関とよくコミュニケーションを取った上で提案をしてください。

2) 応募区分Ⅱ：提言「未来の学術振興構想（2023年版）」に掲載の「学術の中長期研究戦略」の改訂

- ① 「未来の学術振興構想」に掲載の「学術の中長期研究戦略」は、原則、改訂版に掲載しますが、「学術研究構想」の進展等を踏まえた「学術の中長期研究戦略」の改訂ができるものとし、当該「学術の中長期研究戦略」の提案者へ改訂を依頼します。
- ② 学術研究構想の進展のみならず、国内外の研究の動向、また、所属する「グランドビジョン」との関連や同じ「グランドビジョン」に所属する他の「学術の中長期研究戦略」の内容等を踏まえて、「ビジョン」や「学術研究構想」の積極的な再考を推奨します。
- ③ 「学術の中長期研究戦略」の定義等は、上記応募区分Ⅰ③～⑦と同様です。
- ④ 「未来の学術振興構想」に掲載の「学術の中長期研究戦略」のうち、改訂版への掲載が困難な「学術の中長期研究戦略」がある場合には、【意向表明】においてその意向をお示しください。

4. 提案者

応募区分Ⅰの「学術の中長期研究戦略」の提案は、(i) 研究・教育機関の長又は部局長（国公立大学、大学共同利用機関法人、研究開発法人）、(ii) 学協会長（本公募要領における「学協会」とは、日本学術会議が指定する「協力学術研究団体」を指す。）、(iii) 日本学術会議の会員及び連携会員、(iv) 若手研究者（応募区分Ⅰにおいては、2026年3月31日の時点で満45歳以下の者（※）であって、所属部局長の承認を得て、かつ、日本学術会議の会員又は連携会員3名以上（会員1名を含むこと）の推薦がある者）に限る。

応募区分Ⅱの提案者は、「未来の学術振興構想」の既提案者とする（ただし、人事異動等に伴う提案者の変更は可）。

応募区分Ⅰについては、応募区分Ⅱの提案数に関わらず提案者(i)及び(ii)は最大3件まで、提案者(iii)及び(iv)は1件のみ、それぞれ提案することができます。

また、選考の公平性を確保するため、提案者が、その当該提案の審査・評価に関与することはありません。

※ただし、産前・産後休業又は育児休業を取得した者については、満45歳以下の制限にその日数を加算することができます。

5. 公募等期間

2025年4月1日(火)～2025年10月1日(水)

申請件数等の把握及び改訂作業の効率化のため、申請を検討されている場合には、申請意向の表明として、下記に沿って登録してください。

【意向表明のお願い】

<応募区分Ⅰについて>

「学術の中長期研究戦略」の提案を考えられている方は、2025年8月1日（金）までに、以下のURLにより事前の情報提供をお願いいたします。また、若手研究者についてはこの時点での所属部局長の承認は不要です。

なお、情報提供の有無は審査には一切影響はございません。

※応募区分Ⅰ意向表明様式 URL：<https://forms.office.com/r/mPkddwq2TH>

※情報提供事項

- ・ 「学術の中長期研究戦略」の名称(日本語のみ、仮題で可。80字以内。)
- ・ 提言「未来の学術振興構想(2023年版)」において提示している19の「グランドビジョン」(注2)のうち最も関連する「グランドビジョン」の番号
- ・ 提案分野【人文・社会科学、生命科学、理学・工学、分野融合※】
※前記3分野のうち、2分野以上にまたがるもの。
- ・ 提案のキーワード(3～5個)

- ・ 提案予定者の氏名、所属機関、役職等
- ・ 提案の要旨（800字以内。可能な範囲で可。）

<応募区分Ⅱについて>

提言「未来の学術振興構想（2023年版）」に掲載の「学術の中長期研究戦略」の提案者は、必ず2025年8月1日（金）までに、以下のURLにより「未来の学術振興構想」改訂版への掲載の意向等情報提供事項を回答してください（ただし、8月1日（金）より前に応募区分Ⅱ応募様式から申請された方は意向表明は不要です）。

※応募区分Ⅱ意向表明様式 URL：<https://forms.office.com/r/ysGn5tYMs2>

※情報提供事項

- ・ 「学術の中長期研究戦略」の名称（日本語のみ、提言「未来の学術振興構想（2023年版）」に掲載の「学術の中長期研究戦略」と同一の名称としてください。）
- ・ 提言「未来の学術振興構想（2023年版）」における当該「学術の中長期研究戦略」番号
- ・ 提言「未来の学術振興構想（2023年版）」における当該「学術の中長期研究戦略」が所属するグランドビジョンの番号
- ・ 提案予定者の氏名、所属機関、役職等（前回提案時から変更がある場合には、変更後の内容を記載してください。）
- ・ 「未来の学術振興構想」改訂版への掲載の意向【有り、無し】
 - （前項において「有り」と回答した場合）「学術の中長期研究戦略」改訂の予定の有無【有り、無し、検討中】
 - （前項において「無し」を選択した場合）「未来の学術振興構想」改訂版への掲載の意向無しの理由（500字以内）

6. 応募方法

提案に当たっては、応募区分に応じた下記 URL の様式に従い提案書を作成し、ウェブを通じて応募を行ってください。

「未来の学術振興構想」に掲載された「学術の中長期研究戦略」の提案者は、当該「学術の中長期研究戦略」の改訂の有無に関わらず、必ず応募区分Ⅱにより申請を行ってください（本申請をもって、改訂版への掲載の意向を正式に確認したことといたします。）。なお、諸般の事情により「未来の学術振興構想」改訂版（仮称）への掲載が困難な「学術の中長期研究戦略」がある場合には、上記【意向表明】においてお申し出ください。

応募区分Ⅰ応募様式 URL : <https://forms.office.com/r/vPUV5YRxbY>

応募区分Ⅱ応募様式 URL : <https://forms.office.com/r/NeuN2veUNn>

7. 提案書の記載内容

記入項目、内容、分量等の詳細については、上記様式及び下記 URL より参照してください。

「未来の学術振興構想」の改訂に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募等について
URL : <https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyukeikaku/26koubo.html>

8. 説明会の開催

2025年4月24日(木) 16時～17時に公募等説明会(オンライン開催)を実施いたしますので、下記のURLよりご登録下さい。

公募説明会登録フォーム URL : <https://forms.office.com/r/jKKONuDJ0J>

9. ご質問、お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、下記フォームでお問い合わせください。

日本学術会議事務局審議第二担当

問合せフォーム URL : <https://forms.office.com/r/WNpFL7WT6F>

また、多数の方から質問があったものについては、FAQを日本学術会議のウェブサイト内に順次用意しますのでご覧ください。

10. その他

「未来の学術振興構想」に掲載することになった「学術の中長期研究戦略」については、日本学術会議が意思の表出に掲載するための資料等を作成していただくこととなりますので、よろしくお願いたします。

なお、審査の透明性担保の観点から、「学術の中長期研究戦略」の審査結果については、原則として日本学術会議のウェブサイト上で公表する予定です。

(注1) 提言「未来の学術振興構想(2023年版)」

URL : <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-25-t353-3.html>

(注2) 提言「未来の学術振興構想(2023年版)」の19のグランドビジョン

URL : <https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyukeikaku/kousou23.html>

(注3) 第26期「未来の学術振興構想」の改訂方針について

URL : <https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyukeikaku/pdf26/hoshin.pdf>

(注4) 「未来の学術振興構想」の全体像のイメージ

URL : <https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyukeikaku/pdf26/image.pdf>